

情報活用能力チェックリスト（堺市版）

		ステップ1(小学校低学年)			ステップ2(小学校中学年)			ステップ3(小学校高学年)			ステップ4(中学校)		
知識・技能	情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	情報技術に関する技能 (入力、編集・加工、図表の整理)	1	キーボードでIDとパスワードを入力して、ログインをすることができる。	1	ローマ字入力で短い文章の入力ができる。(1分間40文字程度)	1	ローマ字入力で長い文章を正確に打つことができる。(1分間50文字程度)	1	ローマ字入力で日本語とアルファベットが混ざった文章を打つことができる。(1分間で60文字程度)			
			2	GIGA端末で、写真や動画をとってみることができる。	2	パソコンで写真や動画を撮り、それらを発表ノートやPowerPointを使って友だちに伝えることができる。	2	パソコンで撮影した画像や動画を必要に応じて適切に編集し、効果的に伝えることができる。	2	パソコンで写真や動画を撮り、文字を入れて編集し、スライドやTeamsを使って伝えたりOneNoteに資料を貼って保存したり、効果的に伝えたりすることができる。			
			3	発表ノートやPowerPointに図や絵をかくことができる。	3	Excelを使って、表を作ることができる。	3	Excelを使って、適切な表やグラフ(目盛りやグラフの種類など)を作ることができる。	3	WordやExcel等で友だちと協働して学習をし、Onedriveにデータを整理して保存することができる。			
		情報と情報技術の特性の理解 記号の組み合わせ方の理解	4	パソコンやゲーム機などがインターネットにつながることを知っている。	4	身の回りの生活の中でコンピューターが使われていることを知っている。	4	コンピューターによって自動化されて、生活が便利になったものを知っている。	4	クラウドをはじめ、情報ネットワークの利用によって社会が便利になっていることを知っている。			
			5	自分の考えを順序だてて説明することができる。	5	プログラム(ビスケット、scratchなど)をつかって、プログラミングを親しみながらつづることができる。	5	課題を解決するために、その手順をフローチャート等に図示して、簡単なプログラムを作ることができる。	5	課題を解決するためにプログラムを使って自分の意図する動きを実現する命令を複数考え、それぞれの良さを比べて選択することができる。			
	問題解決・探究における情報活用の方法の理解	情報収集、整理、分析、表現、発信の理解	6	知りたいことを本やインターネットで調べることができる。	6	インターネットで知りたいことを、キーワードの組み合わせを考えて、調べることができる。	6	知りたいことをキーワードにして組み合わせたり、検索サービスを選んだりして調べることができる。	6	知りたいことを、本やインターネットなどの複数の方法で調べ、比べて必要な情報を判断することができる。			
			7	作った作品をSKYやTeamsで提出することができる。	7	1つのスライドに図や写真を入れた作品を作り、SKYやTeamsで共有することができる。	7	写真や図、文章のレイアウトを考え、見やすさを意識したスライドを作ることができる。	7	話す内容に合わせて、友だちと協働してスライドを作ることができる。			
		情報活用の計画や評価・改善のための理論や方法の理解	8	たくさんの友だちの意見を知ることで、考えが深まることを知っている。	8	同じところや違うところを比べることで、考えを整理できることを知っている。	8	解決の方法を考えるときには、変える条件と変えない条件を整理することを知っている。	8	他者の考えと比較しながら目的や意図に応じて情報を整理することでより妥当な結論を導き出せることを知っている。			
			情報技術の役割・影響の理解	9		9	人をだまそうとする情報や、よくないホームページを見つけたとき、大人に相談できる。	9	悪意がある情報や、不適切・不正なサイトを見つけたときは、自分から見ないようにし、人に相談できる。	9	悪意がある情報や、不適切・不正なサイトを見つけたときは、自分から見ないようにし、人に相談できる。		
				10		10	新聞・テレビなどのニュースの記事や写真は、伝える側の思いや考えがあることを知っている。	10	新聞やテレビからの情報には、視点を変えることでいろいろな見方ができることを知っている。	10	新聞やテレビなどのメディアからの情報には、発信者の意図が含まれていることをわかった上で利用している。		
情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	情報モラル・情報セキュリティの理解	9	他の人がかいたものやつくったものや情報は大切にし、勝手にとってはいけないことを知っている。	11	他の人の言葉や文章を使う時、自分のものではないことをわかるようにしている。	11	自分の文書の中に、他の人の言葉や文章を引用する部分を「」でくって書いている。	11	自分の文章の中で、引用する本や文、語句などを「」でくって、そのまま抜き出して書き、参考にした資料を参考文献として必要事項を明記することができる。				
		10	人の写真を勝手にとってはいけないことを知っている。	12	人の写真を撮る時や他の人の作ったものを使うときには、その人の許可をとっている。	12	人の写真を撮る時や他の人の作ったものや情報を使うときには、その人の許可をとっている。	12	SNS等に人の写真や文章等をアップロードする時は、肖像権・著作権に気を付けることができる。				
		11	MicrosoftのIDやパスワードが大切であることを知っている。	13	個人情報やMicrosoftのID、パスワードが大切であることを知っている。	14	個人情報やMicrosoftのID、パスワードは大切であることが分かり、自分で安全に管理している。	14	パスワードは自分の誕生日などではなく、他の人が分からないようなものに設定して管理する必要があることを知っている。				
		12		14		15		15					
		13		15		16		16					
思考力・判断力・表現力	問題解決・探究における情報活用の方法の理解 探究における情報を活用する力 (プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む)	①必要な情報を収集、整理、分析、表現する力 ②新たな意味や価値を創造する力 ③受けての状況を踏まえて発信する力 ④自らの情報活用を評価・改善する力	12	人の話をよく聞いて、質問や感想を言うことができる。	14	話を聞きながら、大事だと思うことをメモすることができる。	15	話し手の言いたいことを考えて聞き、大事だと思うことをメモを取ることができる。	15	必要に応じて、記録したり質問したりしながら話す人の言いたいことをとらえることができる。			
			13		15	2つのものやことと同じところや違うところを比べて、問題を見つけられることができる。	16	見いだした問題に対して、解決の方法を考えることができる。	16	見いだした問題に対して、多面的に調べ、目的や意図に応じて情報を整理し、必要なものを選んでまとめることができる。			
			14		16	調べたことを同じ種類や仲間に分け、表やグラフ、思考ツールなどに整理することができる。	17	実験結果や資料から読み取った数値をもとに、表やグラフ、思考ツールなどに整理して表すことができる。	17	実験結果や資料から読み取った数値をもとに、表やグラフ、思考ツールなどに整理して新たな意味を見いだすことができる。			
			15		17	表やグラフの示していることを読み取ることができる。	18	表やグラフから、必要な情報や数値を正確に読み取ることができる。	18	表やグラフから変化や傾向を読み取り、分かりやすく説明することができる。			
			16		18	集めた情報から必要なものを選んでまとめることができる。	19	知りたいことを複数の方法で調べ、情報を比較し、必要なものを選んでまとめることができる。	19	複数のホームページから情報源の信頼性を判断し、活用することができる。			
			17		19	相手に伝わるように、声の大きさにきをつけたり、間をとったりしながら話すことができる。	20	調べた情報を他の情報と比較したり、他の人の意見を聞いたりしながら話し合うことができる。	20	グループで話し合うときに、周りの意見も聞きながら質問をし、自分の意見を述べるができる。			
			18		20	相手に伝わるように理由や例などを挙げて話すことができる。	21	自分の考えが伝わるように、資料を活用するなど、表現を工夫することができる。	21	説明するときに資料やパソコンを活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。			
			19		21	調べたことを写真や図を用いてスライドをつくり、それを見せながら発表をすることができる。	22	調べたことを、表やグラフを作成したり、写真や図を用いたりして、スライド等にわかりやすくまとめて発表することができる。	22	情報を統合して、理論立てて考え、目的や意図に応じて新聞やリーフレット、スライド等にまとめて伝えることができる。			
			20		22		23		23				
			21		23		24		24				
学びに向かう力・人間性等	問題解決・探究における情報活用への態度	16	知りたいことを楽しみながら進んで探そうとしている。	22	課題に対していろいろな方法で情報を探そうとしている。	23	課題に合わせていろいろな方法で情報を探し、それを比較して活用しようとしている。	23	複数の情報を比較して、根拠をあげて自分なりの考えを提案しようとしている。				
		17	知りたいことは、なるべく自分の力で調べるようにしている。	23	集めた情報をまとめて、発表するなどの活動をふり返り、次にいかそうとしている。	24	伝えたいことが、受けてにきちんと伝わっているか、自分の発表の仕方をふり返り、次に活かそうとしている。	24	伝えたいことが、受け手の状況に応じてきちんと伝わっているか、自分の発表の仕方をふり返り、次に活かそうとしている。				
	情報モラル・情報セキュリティなどについての態度	18	自分の個人情報(名前・電話番号・住所・MicrosoftのID・パスワードなど)を知らない人に教えないようにしている。	24	自分や他の人の個人情報(名前・電話番号・住所・MicrosoftのID・パスワードなど)を知らない人に教えないようにしている。	25	個人情報をネットワーク上に書き込まないようにしたり、パスワードを他の人にわからないようなものにしたりしている。	25	個人情報をネットワーク上に書き込まないようにしたり、パスワードを他の人にわからないようなものにしたりしている。				
		19	先生の話や動画を操作しないなどのパソコンを使う時のルールを守って使っている。	25	メッセージや画像・動画を送るときに、誰がみるか、その内容が適切かなど考えるようにしている。	26	SNSなどで、メッセージや画像・動画を送るときには、誰がみるか、その内容が適切かどうかなど考えるようにしている。	26	SNSなどでメッセージや画像・動画を送るときには、誰がみるか、その内容が適切かどうかなど考え、情報社会における自分の責任や義務を踏まえて行動しようとしている。				
情報社会に参画しようとする態度	20	パソコンを大切に使い、終わったら充電保管庫に入れて充電をしている。	26	調べてまとめたり、発表したりする学習ではパソコンをかつようするようにしている。	27	情報を調べて分析し、まとめたり発表したりする学習では、必要に応じて自分からパソコンを活用しようとしている。	27	必要に応じて自分からパソコンを適切に活用し、学習することができる。					

情報活用能力チェックリスト（ステップ1）

ねん くみ ばん なまえ

できているものに○をつけましょう。

1	キーボードでIDとパスワードを入力して、ログインをすることができる。	
2	GIGA端末で、写真や動画をとってみることができる。	
3	発表ノートやPowerPointに図や絵をかくことができる。	
4	パソコンやゲーム機などがインターネットにつながることを知っている。	
5	自分の考えを順序だてて説明することができる。	
6	知りたいことを本やインターネットで調べることができる。	
7	作った作品をSKYやTeamsで提出することができる。	
8	たくさんの友だちの意見を知ることで、考えが深まることを知っている。	
9	他の人がかいたものやつくったものや情報は大切にし、勝手にとってはいけないことを知っている。	
10	人の写真を勝手にとってはいけないことを知っている。	
11	MicrosoftのIDやパスワードが大切であることを知っている。	
12	人の話をよく聞いて、質問や感想を言うことができる。	
13	相手に伝わるように、声の大きさにきをつけたり、間をとったりしながら話すことができる。	
14	伝えたいことを順番に気を付けて発表することができる。	
15	見せたいものをテレビに映して発表できる。	
16	知りたいことを、楽しみながら進んで探すようにしている。	
17	知りたいことは、なるべく自分の力で調べるようにしている。	
18	自分の個人情報（名前・電話番号・住所・MicrosoftのID・パスワードなど）を知らない人に教えないようにしている。	
19	先生の話聞く時はパソコンを操作しないなどのパソコンを使う時のルールを守って使っている。	
20	パソコンを大切に使い、終わったら充電保管庫に入れて充電をしている。	

情報活用能力チェックリスト（ステップ2）

年 組 番 名前

できているものに○をつけましょう。

あてはまらない
 あてはまる
 よくあてはまる

1	ローマ字入力で短い文章の入力ができる。(1分間40文字程度)	4 - 3 - 2 - 1
2	パソコンで写真や動画を撮り、それらを発表ノートやPowerPointを使って友だちに伝えることができる。	4 - 3 - 2 - 1
3	Excelを使って、表を作ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
4	身の回りの生活の中でコンピューターが使われていることを知っている。	4 - 3 - 2 - 1
5	プログラム(ビスケット、scratchなど)をつかって、プログラミングを楽しむことができる。	4 - 3 - 2 - 1
6	インターネットで知りたいことを、キーワードの組み合わせを考えて、調べることができる。	4 - 3 - 2 - 1
7	1つのスライドに図や写真を入れた作品を作り、SKYやTeamsで共有することができる。	4 - 3 - 2 - 1
8	同じところや違うところを比べると、たくさんのに気づくことができることを知っている。	4 - 3 - 2 - 1
9	人をだまそうとする情報や、よくないホームページを見つけたとき、大人に相談できる。	4 - 3 - 2 - 1
10	新聞・テレビなどのニュースの記事や写真は、伝える側の思いや考えがあることを知っている。	4 - 3 - 2 - 1
11	他の人の言葉や文章を使う時、自分のものではないことをわかるようにしている。	4 - 3 - 2 - 1
12	人の写真を撮る時や他の人の作ったものを使うときには、その人の許可をとっている。	4 - 3 - 2 - 1
13	個人情報やMicrosoftのID、パスワードが大切であることを知っている。	4 - 3 - 2 - 1
14	話を聞きながら、大事だと思うことをメモすることができる。	4 - 3 - 2 - 1
15	2つのものやことと同じところや違うところを比べて、問題を見つけることができる。	4 - 3 - 2 - 1
16	調べたことを同じ種類や仲間に分け、表やグラフ、思考ツールなどに整理することができる。	4 - 3 - 2 - 1
17	表やグラフの示していることを読み取ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
18	集めた情報から必要なものを選んでまとめることができる。	4 - 3 - 2 - 1
19	相手に伝わるように、声の大きさに気をつけたり、間をとったりしながら話すことができる。	4 - 3 - 2 - 1
20	相手に伝わるように理由や例などを挙げて話すことができる。	4 - 3 - 2 - 1
21	調べたことを写真や図を用いてスライドをつくり、それを見せながら発表をすることができる。	4 - 3 - 2 - 1
22	課題に対していろいろな方法で情報を探そうにしている。	4 - 3 - 2 - 1
23	集めた情報をまとめて、発表するなどの活動をふり返り、次にいかそうとしている。	4 - 3 - 2 - 1
24	自分や他の人の個人情報(名前・電話番号・住所・MicrosoftのID・パスワードなど)を知らない人に教えないようにしている。	4 - 3 - 2 - 1
25	メッセージや画像・動画を送るときに、誰がみるか、その内容が適切かなど考えるようにしている。	4 - 3 - 2 - 1
26	調べてまとめたり、発表したりする学習ではパソコンをかつようするようになっている。	4 - 3 - 2 - 1

情報活用能力チェックリスト（ステップ3）

よくあてはまる
あてはまる
あまりあてはまらない
あてはまらない

年 組 番 名前

できているものに○をつけましょう。

1	ローマ字入力で長い文章を正確に打つことができる。（1分間50文字程度）	4 - 3 - 2 - 1
2	パソコンで撮影した画像や動画を必要に応じて編集することができる。	4 - 3 - 2 - 1
3	Excelを使って、適切な表やグラフ（目盛りやグラフの種類など）を作ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
4	コンピューターによって自動化されて、生活が便利になったものを知っている。	4 - 3 - 2 - 1
5	課題を解決するために、その手順をフローチャート等に図示して、簡単なプログラムを作ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
6	知りたいことをキーワードにして組み合わせたり、検索サービスを選んだりして調べることができる。	4 - 3 - 2 - 1
7	写真や図、文章のレイアウトを考え、見やすさを意識したスライドを作ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
8	解決の方法を考えるときには、変える条件と変えない条件を整理することを知っている。	4 - 3 - 2 - 1
9	悪意がある情報や、不適切・不正なサイトを見つけたときは、自分から見ないようにし、人に相談できる。	4 - 3 - 2 - 1
10	新聞やテレビからの情報には、視点を変えることでいろいろな見方ができることを知っている。	4 - 3 - 2 - 1
11	自分の文書の中に、他の人の言葉や文章を引用する部分を「」でくくって書いている。	4 - 3 - 2 - 1
12	人の写真を撮る時や他の人の作ったものや情報を使うときには、その人の許可をとっている。	4 - 3 - 2 - 1
13	情報を発信するときには、その情報が残ったり、広がったりする危険性があることを理解している。	4 - 3 - 2 - 1
14	個人情報やMicrosoftのID、パスワードは大切であることが分かり、自分で安全に管理している。	4 - 3 - 2 - 1
15	話し手の言いたいことを考えて聞き、大事だと思うことをメモを取ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
16	見いだした問題に対して、解決の方法を考えることができる。	4 - 3 - 2 - 1
17	実験結果や資料から読み取った数値をもとに、表やグラフ、思考ツールなどに整理して表すことができる。	4 - 3 - 2 - 1
18	表やグラフから、必要な情報や数値を正確に読み取ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
19	知りたいことを複数の方法で調べ、情報を比較し、必要なものを選んでまとめることができる。	4 - 3 - 2 - 1
20	調べた情報を他の情報と比較したり、他の人の意見を聞いたりしながら話し合うことができる。	4 - 3 - 2 - 1
21	自分の考えが伝わるように、資料を活用するなど、表現を工夫することができる。	4 - 3 - 2 - 1
22	調べたことを、表やグラフを作成したり、写真や図を用いたりして、スライド等にわかりやすくまとめて発表することができる。	4 - 3 - 2 - 1
23	課題に合わせていろいろな方法で情報を探し、それを比較して活用しようとしている。	4 - 3 - 2 - 1
24	伝えたいことが、受けてにきちんと伝わっているか、自分の発表の仕方を振り返るようにしている。	4 - 3 - 2 - 1
25	個人情報をネットワーク上に書き込まないようにしたり、パスワードを他の人にわからないようなものにしていたりしている。	4 - 3 - 2 - 1
26	SNSなどで、メッセージや画像・動画を送るときには、誰がみるか、その内容が適切かどうかなど考えるようにしている。	4 - 3 - 2 - 1
27	情報を調べて分析し、まとめたり発表したりする学習では、必要に応じて自分からパソコンを活用するようにしている。	4 - 3 - 2 - 1

情報活用能力チェックリスト（ステップ4）

よくあてはまる
 あてはまる
 あまりあてはまらない
 あてはまらない

年 組 番 名 前

できているものに○をつけましょう。

1	ローマ字入力で日本語とアルファベットが混ざった文章を打つことができる。（1分間で60文字程度）	4 - 3 - 2 - 1
2	パソコンで写真や動画を撮り、文字を入れて編集し、スライドやTeamsを使って伝えたりOneNoteに資料を貼って保存したりできる。	4 - 3 - 2 - 1
3	WordやExcel等で友だちと協働して学習をし、Onedriveにデータを整理して保存することができる。	4 - 3 - 2 - 1
4	クラウドをはじめ、情報ネットワークの利用によって社会が便利になっていることを知っている。	4 - 3 - 2 - 1
5	課題を解決するためにプログラムを使って自分の意図する動きを実現する命令を複数考え、それぞれの良さを比べて選択することができる。	4 - 3 - 2 - 1
6	知りたいことを、本やインターネットなどの複数の方法で調べ、比べて必要な情報を判断することができる。	4 - 3 - 2 - 1
7	話す内容に合わせて、友だちと協働してスライド作ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
8	他者の考えと比較しながら目的や意図に応じて情報を整理することでより妥当な結論を導き出せることを知っている。	4 - 3 - 2 - 1
9	悪意がある情報や、不適切・不正なサイトを見つけたときは、自分から見ないようにし、人に相談できる。	4 - 3 - 2 - 1
10	新聞やテレビなどのメディアからの情報には、発信者の意図が含まれていることをわかった上で利用している。	4 - 3 - 2 - 1
11	自分の文章の中で、引用する本や文、語句などを「」でくくって、そのまま抜き出して書き、参考にした資料を参考文献として必要事項を明記することができる。	4 - 3 - 2 - 1
12	SNS等に人の写真や文章等をアップロードする時は、肖像権・著作権に気を付けることができる。	4 - 3 - 2 - 1
13	情報を発信するときには、その情報が残ったり、広がったりする危険性があることを理解している。	4 - 3 - 2 - 1
14	パスワードは自分の誕生日などではなく、他の人が分からないようなものに設定して管理する必要があることを知っている。	4 - 3 - 2 - 1
15	必要に応じて、記録したり質問したりしながら話す人の言いたいことをとらえることができる。	4 - 3 - 2 - 1
16	見いだした問題に対して、多面的に調べ、目的や意図に応じて情報を整理し、必要なものを選んでまとめることができる。	4 - 3 - 2 - 1
17	実験結果や資料から読み取った数値をもとに、表やグラフ、思考ツールなどに整理して新たな意味を見いだすことができる。	4 - 3 - 2 - 1
18	表やグラフから変化や傾向を読み取り、分かりやすく説明することができる。	4 - 3 - 2 - 1
19	複数のホームページから情報源の信頼性を判断し、活用することができる。	4 - 3 - 2 - 1
20	グループで話し合うときに、周りの意見も聞きながら質問をし、自分の意見を述べるることができる。	4 - 3 - 2 - 1
21	説明するときに資料やパソコンを活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。	4 - 3 - 2 - 1
22	情報を統合して、理論立てて考え、目的や意図に応じて新聞やリーフレット、スライド等にまとめて伝えることができる。	4 - 3 - 2 - 1
23	複数の情報を比較して、根拠をあげて自分なりの考えを提案するようにしている。	4 - 3 - 2 - 1
24	伝えたいことが、受け手の状況に応じてきちんと伝わっているか、自分の発表の仕方を振り返り、次に活かそうとしている。	4 - 3 - 2 - 1
25	個人情報ネットワーク上に書き込まないようにしたり、パスワードを他の人にわからないようなものにしていたりしている。	4 - 3 - 2 - 1
26	SNSなどでメッセージや画像・動画を送る時には、誰がみるか、その内容が適切かどうかなど考え、情報社会における自分の責任や義務を踏まえて行動しようとして	4 - 3 - 2 - 1
27	必要に応じて自分からパソコンを適切に活用し、学習することができる。	4 - 3 - 2 - 1